

## 第15回八代地域審議会発言要旨

委員	事務局
平成22年度主要事業について	
重点プロジェクト2人が集まるまちプロジェクトでは中心地アーケードのハード事業は含まれるのか。	全く含まない。日奈久地区活性化事業がメインである。
中心市街地には何もしない、できないという意味か。新幹線プロジェクトは市としては終わっているのではないのか。	市は新駅付近の道路・公園などのハード整備をし、商業施設は民間の活力を導入するという考え方である。
日奈久 IC に案内板を設置とあるが、高速無料化が実施された今、もう遅いのではないか。民間では3年先を考えている。	日奈久活性化事業は J R A の誘致と 5 h a の公園の 2 事業が柱である。利用客の増員を皆さんの知恵をお借りしながら考えたい。グレードを上げるためにはグルメなども確かに必要である。今後検討する。
福岡のように食事が楽しめて女性が遊べる場所というようにおしゃれにもっていくとよいのでは。	
観光振興計画策定とあるが、予算をかけずにアイデアでできることはないのか。例えば八代市を2時間で回れるコース、一日コースなどの観光計画は作っているのか。松浜軒で幕が破れていたり手入れが行き届いていない様子が目についた。修理にはそう費用はかからないはずだ。八代市の CM をお金かけてスポット街で流すより、考えてできることはないのか。日奈久ツアーの助成はあるが、コースの計画はあるのか。市のどこが担当するのか。	CM やパンフの制作は地域振興課だが、人の多い博多などでメディアを利用した PR も重要だと思う。観光振興についてはできるだけお金をかけずにやるというのが原則だ。 観光コースは重要だと思うので、観光振興課と協議をしたい。
「ごろっとやっちろ」は最近県外からも注目されている。まず市民の皆さんが八代が好きだという気持ちを持ってもらうことが大事で、そういう市民の気持ちを市がネットワークでつなげるとよいのでは。	

委員	事務局
<p>行政にお金がないのはわかっている。市民の力で外にアピールするのはよいと思う。</p>	
<p>熊本市でも運転手を試験制で昇給させる取組みがある。</p>	
<p>大きいことは市がやり、市民（企業や事業所も含むが）はもっと努力をすべきだ。アーケードは努力が足りない。まずアーケードにバス路線を通すことだと思う。</p>	
<p>バス路線はアーケード側が拒否した。タクシーもバスもアーケード側が入れないと決断された。</p> <p>タクシーの観光コースガイドもよいが、新駅で2時間に一人くらいしか客は来ない。</p> <p>八代、日奈久の問題については長くなるので次回に論議を。</p>	
<p><b>住民自治によるまちづくりの推進について</b></p>	
<p>住民自治は、しなければいけないのか、した方がよいなのか。</p>	<p>住民自治はしていかないといけないものである。</p>
<p>皆さんに聞きたいが、幼稚園や小学生は公民館へ行っているのか。最近は自分も余り行ったことがない。</p>	
<p>公民館では校区の祭りやいろいろな講座など世代間交流で頑張っておられる。先ず行って見ないと言えないのでは。</p>	
<p>地域のまちづくりについては情報が余り入って来ない。</p>	
<p>情報は市報に載っている。</p>	

委員	事務局
広報の仕方が足りないのではないかと。	
市報にも回覧板にも載っている。まず知ろうとするのが大事では。	
見る人は一枚ずつ丁寧に見るが、見ない人は見ないし個人差がある。	
寄付のお願いには来られても特にご案内はない。 しかし住民自治は待たず進んで進む。説明会には行ったほうが いいが、行かない人が多いと思う。	
これからは無関心では済まない時代が来る。老人会は（地域組織の統合から）外すのか。補助金はどうなるのか。	老人会もぜひ参加してほしい。しかし老人会の活動助成金について補助金の統合は一切ない。
それが一番困る。金は別で体は一緒ではやり辛い。後では少し下さいということになる。	老人会は目的補助金なので補助金の統合は難しい。
資料の推進体制を見たが、行政窓口の一本化、本庁に担当職員を配置するなど、当初聞いた時より大分整理された。	
モデル地域について何か決まっているのか。どのように決定されるのか。	モデル地域指定については白紙で、校区説明会が終わってから、地域バランスを考慮した上で行う。地域のやる気も必要。
総社教を中心とするとしても、旧町村にはないが調整はどうなるのか。 住民説明会には委任状をとるなど、できるだけ多く参加してもらえるようにすべき。	旧町村には校区福祉会があるのでそれを中心にされてもよいのでは。

委員	事務局
<p>議員の方たちは勉強会をしているのか。この前の祭りの予算カットのように知らないでは困る。</p>	<p>議会では説明をしてあるが、特に個別にはない。議員も自分の地域の説明会には出席してもらえればと思う。また、要請があれば小単位での説明会も可能なので利用していただきたい。</p>
	<p>これまで社協と勉強会を開いてきている。校区福祉会が中心になるのかどうかは地域で判断されるのかと想定していたが、最近では地域でバラバラなのはよくないので市の施策に合わせていくべきとの基本的な方針は決められたようだ。</p>
<p>第2次地域福祉計画について</p>	
<p>資料を見ると、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳3つ共に、平成20年度は急に対象者が増えているが認定の規制緩和とか何かあったのか。</p>	<p>身体障害者手帳は約70%が65歳以上の高齢者であり、療育手帳は社会的理解が進み、ある年齢になったら取るという人が増えている。精神の手帳も以前は入院が多かったが、平成18年度に障害者自立支援法が施行され、取得する人が増えた。</p>
<p>次世代育成プランについて</p>	
<p>特段なし</p>	